

市民参加型まちづくり1%システム（令和4年度3次募集） 審査結果 【一般部門】

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または 各審査項目3点未満)		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	備考
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
1	新規	公益財団法人弘前市スポーツ協会	冬の球場アート 2023	冬期間のはるか夢球場を利活用し、球場内にスノーアートを制作し、観覧してもらう。球場内の電光掲示板でメッセージを贈る企画や、球場外でバナナボード体験、キッチンカーやクラブト店も出展し、親子で楽しめるイベントとすることで、厳寒期の雪を積極的に活かし、地域の活性化につなげる。	500,000	75.3		○	500,000	
2	新規	こどものまちミニひろさき実行委員会	こどものまちミニひろさき vol.7	小学1～6年生だけが「市民」になり、学校区や学年の枠を超え「遊びと体験のまち」を創り楽しむプログラムを行う。子どもたちは活動を通して、主体性と創造性、市民性を育み、また、中高生・大学生・大人がサポート役として関わることで世代性を育む。	290,000	80.2		○	290,000	
3	継続	弘前市歌人連盟	第3回 小・中・高生ひろさき短歌大会	小・中・高校生を対象として「弘前」及び「自由」をテーマとした短歌を募集する短歌大会を開催し、学生の若い感性と視点から地域の魅力を再認識・発信する。また、冬休みに学童施設に出向き、短歌の出張講座を行い、小学生に短歌を楽しんでもらう。子供達への短歌の取り組みを行うことで、短歌人口の増加につなげる。	384,000	79.6		○	384,000	
4	新規	岩木山観光協会	岩木山体験型モニターツアー	市民に岩木山麓の温泉の良さを再発見してもらい、「近場の温泉で楽しく過ごせる」ことを認識してもらうため、温泉とセットで岩木地区で楽しめる観光・体験・娯楽等も組み込んだ「娯楽型の湯治」をモニターツアーで体験してもらう。モニターから得た感想や意見をもとに、岩木山温泉郷全体の観光コンテンツとして発展させていく。	415,000	62.7		○	415,000	
5	継続	テシゴト・ミライラボ	竹細工-りんごかごの未来を考えよう【動画制作】	「りんごかご」に代表される竹細工を未来に残すため、りんごかご制作工程の動画を作成し、技術習得のための動画上映・ミーティングを行う。文化と産業としての竹細工の価値について知り、未来に残すために活動する仲間を増やし、共に考え、行動することで、竹かごを作る人々を増やしていく。	415,000	77.2		○	415,000	
6	継続	ひろエネ	自然エネルギー・省エネワークショップ	子ども（とその保護者）に、日常使用しているエネルギーはどのようにつくられ、送られ、消費されているのか、そして、将来的にどのような形のエネルギーを使った社会になっていけばよいのかを考えてもらう機会となることを目的として実施する。学校では学ばない分野を、身近な素材を用いた工作体験や、クイズ形式のワークショップを通じて触れることにより、自分で作った時の喜びや感動だけでなく、試行錯誤の中での新たな気づき・創造力の創出、失敗からの学びにつながる場とする。	211,000	81.5		○	211,000	
7	新規	弘前商工会議所青年部	第1回 弘前ニューウィンタースポーツ SONDO（ソンド）	コロナ禍でも子どもたちが楽しめるイベントとして、カラーインク入り水鉄砲や雪原を利用した新しいウィンタースポーツ大会を実施する。子どもが楽しくはしゃぐ機会の創出、地域資源（雪・りんご公園）の活用、運動不足解消、街の賑わい創出を目的とし、地域経済の活性化・郷土愛の醸成・新しい観光コンテンツの定着化を目指す。	500,000	72.7		○	500,000	
8	新規	弘前サウンド・エデュケーション・コレクティブ	弘前サウンド・プロジェクト2022	子どもたちを対象としたあらゆる世代を対象に、音楽活動を利用したコミュニケーションの場を提供する。障がいの有無や年齢に関わらずに誰もが参加できる、言葉・創作・身体を使った音楽活動の実践により、社会性およびコミュニケーション能力の育成、コミュニティ作りにつなげる。	312,000	56.4		×	○	(審査委員会の主な意見) 誰でも気軽に楽しめる新しい音楽の環境を提供したいという目的は理解できますが、クラブ・イベントについては、高齢者が本当に対応でき、参加してもらえるイベントなのかどうかが見えにくいと感じます。弘前市の現状をよく知ったうえで事業を組み立て直し、広報時の表現の工夫や、参加の可能性が高そうなところに直接声がけをして集客するなど、実施方法をよく考えていただきたいと思えます。
9	継続	NPO法人弘前Jスポーツプロジェクト	第2回弘前さくら夢project～ 小野伸二×小林大悟 サッカー教室（仮）	世界で活躍したプロサッカー選手を招致し、サッカー教室を開催する。プロのサッカー選手から直接指導を受けることで、子どもたちの夢を育むとともに、未来へ向かって成長することの楽しさを伝える。	500,000	68.2		○	500,000	
10	継続	Aプロジェクト	WAのりんご ～APPLE&CIDERY HISTORY～	当市が誇るりんごの加工品である弘前のシードルの魅力発信のため、リーフレットを配布するとともに、りんご酒の歴史を辿る街歩きやシードル講座を開催し、弘前のりんご酒づくりの歴史などを通して、りんご産業の大切さを伝える。また、親子を対象にワークショップ（りんごに関する絵本読み聞かせ・りんご風船作成）を開催し、未来を引き継ぐ子ども達にも弘前りんごに興味を持ってもらう機運を醸成する。	208,000	76.7		○	208,000	

市民参加型まちづくり1%システム（令和4年度3次募集） 審査結果 【一般部門】

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	備考
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
11	新規	有志団体 小沢地区ソーシャルデザインラボ	弘前市小沢・坂元地区における、地域文化継承と関係人口拡大事業	小沢・坂元地区の地域課題として、護国山観音院久渡寺所蔵の「返魂香之図」の文化的価値の伝達・継承や地域内の若年層の不足による多様性の欠如が挙げられる。小沢・坂元地区のキャンプサイト、空き地・空き家を活用し、音楽フェスイベントを実施することで、若者の“関わりしろ”を作り、地域内外の関係者を増やし、地域活性化につなげる。	406,000	67.1		○	406,000	
合計				11事業（新規6事業 継続5事業）	4,141,000	-	採択 10 事業 不採択 1 事業		3,829,000	

審査項目

公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる

市民参加型まちづくり1%システム（令和4年度3次募集） 審査結果 【スタート部門】

番号	事業分野	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	備考
1	社会教育・文化	つけらっとゲームス	ゲーム制作の裏側を知る展覧会 (仮)	弘前を題材としたゲームアプリの展覧会を実施。展覧会では、実際にゲームで遊んでもらい、地域の歴史や魅力を伝える「遊び」や「学び」を提供する。また、ゲームアプリ制作で使用したイラストや、制作過程のスケッチ、プログラミングの仕組みなど、普段目にする機会がほとんどないゲーム制作の裏側をみせたり、ゲーム制作全般の質問に答え、創作活動の楽しさを伝える。	50,000	○	50,000	
2	社会教育・文化	金融リテラシーサークル	学生に向けた金融知識入門	金融庁が発表している高校生向けの金融教育指導教材を基に、社会人なら知っていて当たり前前の知識や、お金の効率的な使い方、働かせ方のセミナーを開催する。高校生・大学生の金融リテラシーを高めることで、無駄な出費や金融トラブルを避けることができ、個々の収入の増大へつながる。	42,000	○	42,000	～審査委員会からの意見・アドバイス～ ・この知識を知りたいという人はたくさんいると思うので、学生に限定せずにセミナーを開催していただきたいです。 ・学んだことを弘前に還元できるような工夫を行っていただきたいです。 ・金融リテラシーを高めるという意義や課題に向けて、今後どう取り組むのかをもう少し考えてみていただきたいです。
3	地域	みんなの居場所 ステップ44	みんなの居場所	岩木地区五代に、色々な世代・地域に縁のある人たちが集う場所を作り、地域活性化を図る。また、五代地区で500年続く芸能「五代獅子舞」を継承していくための担い手や支援者の育成にもつなげていく。	50,000	○	50,000	～審査委員会からの意見・アドバイス～ ・岩木地区では、高齢者の居場所づくりを行っている団体がありますが、地域の人たちが自ら子どもの居場所づくりを含めた多世代の居場所づくりを行うものはないため、新しい取り組みであると思います。 ・立ち上げ時のため、周知啓発に係る経費や、運営スタッフの不足を補うための経費が多くなっているものですが、事業を実施していく中で、参加者や協力してくれる仲間を増やしていくことにより、少しずつ減らしていくことができると思いますので、事業が安定した際には、経費の削減に取り組んでいただきたいと思います。
合計				4事業	142,000	採択 3 事業 不採択 0 事業	142,000	